



# はなみずき

学校教育目標

「なぜだろう」  
「これでよいのか」  
「さあやるぞ」

## 全校朝会 ～すてきな秋を過ごすために～



校長 鈴木 克彦

来週から11月。11月7日（金）は「立冬」で、暦の上では「冬」となりますが、校庭の木々も少しずつ赤や黄に色づきはじめ、毎日、秋の深まりを感じています。

先日、行われた運動会では、みなさん一人一人の努力と全力で取り組む姿が、会場にいるすべての人たちの、たくさんの感動につながっていました。みなさんで作りあげた素敵な運動会をありがとうございました。

北小学校の11月は、「芸術の秋」に変わります。元気に歌い上げていた「運動会の歌」とは違い、各学年が素敵なハーモニーを響かせる校内音楽会があります。練習で聞こえてくる楽器の音色や歌声が、本番ではどんな風に聞こえてくるのか、いまから楽しみにしています。

さて、秋の過ごし方にはいろいろとあると思いますが、みなさんに「一日のうちで、いつが秋らしくていいな？」と思うか、質問したいと思います？

・秋は、朝がいい！ ・秋は、昼間がいい！ ・秋は、夕方がいい！ ・秋は、夜がいい！

※10月28日（火）の全校朝会では、「秋は、夕方がいい！」と思っている人が多かったです。ぜひ、お家でも話題にしてみてください。

5年生は国語の教科書に載っているなので、勉強していると思います。

今から、1000年以上前、平安時代の半ばに、清少納言という女性がいました。この清少納言は、「枕草子」という随筆の中で、「秋は 夕暮れがよい」と言っています。

「秋は夕暮れ 夕日のさして山の端<sup>は</sup>いと近うなりたるに、 鳥のねどころへ行くとて、 三つ四つ、二つ三つなど飛びいそぐさへあはれなり。（中略）日入り果てて、 風の音、虫の音など、はた言ふべきにあらず。」

秋は夕暮れ（ゆぐれ） 夕日がさして山の端<sup>は</sup>ことどもちかくなったときに、カラスがねぐらに行こうと、三つ四つ二つ三つなど急いで飛んでるのにまで心を引かれる（中略）日がすっかり落ちて 風の音、虫の音など（が聞こえるもの）、やはり言うまでもなくいいものである。

「枕草子・徒然草」 監修 田近海一 ポプラ社 より

「夕日が落ちて山に隠れそうになった時、カラスが3羽、4羽と山のほうに飛んでいく様子がよい、暗くなってから聞こえてくる虫の声や風の音も素敵だ」とも言っています。※「春はあけぼの（夜明け方） 夏は夜（夜） 秋は夕暮れ（夕暮れ） 冬はつとめて（早朝）」

人それぞれに感じ方や考え方は違うので、清少納言と同じように、「秋は夕暮れがいい」と、感じる必要はありません。また、言われたから、それに合わせる必要もありません。自分が素直に感じて思ったことを、自分の心を大切にしてほしいと思います。



では、みなさんはどんな時に「秋らしくていいなあ」と感じたり、思ったりしますか？

目に見える自然の様子、静かに耳を澄まして聞こえてくる音など、五感を働かせて季節を感じてみてください。「芸術の秋」「読書の秋」「スポーツ秋」「食欲の秋」……、自分にあった「〇〇な秋」を見つけ、すてきな時間を過ごしてほしいと思います。